

第3四半期 決算説明資料(連結) (2013年6月期)

2013年5月13日
株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現

3Q(累計) : 第3四半期連結累計期間

3Q : 第3四半期連結会計期間

経営環境

■ マクロ環境

- ▶ 日本は、輸出環境が改善、経済対策や金融政策等で改善の動き。
- ▶ 米国は、個人消費や設備投資が拡大し緩やかな回復傾向。
- ▶ 欧州は、高い失業率を背景に全体として弱い動き。
- ▶ 中国は、個人消費の盛り上がり欠け、景気拡大のテンポが鈍化。

■ アルバックをとりまく状況

- ▶ FPD: 大型液晶関連投資は中国中心。有機EL関連は中小型、照明、大型TV用途での投資が動き始める。中小型液晶投資は一服感。
- ▶ 半導体: メモリ価格の下げ止まりで、一部メーカーの投資が再開。
ロジックファウンドリの投資も開始。
- ▶ LED : 市場回復の遅れで、中国、日本など投資計画が延期。
- ▶ パワー半導体: 中国での投資が低迷。日本でも下振れ。
- ▶ 材料 : 液晶パネルメーカーや半導体メモリの減産が続き、力強さに欠ける。

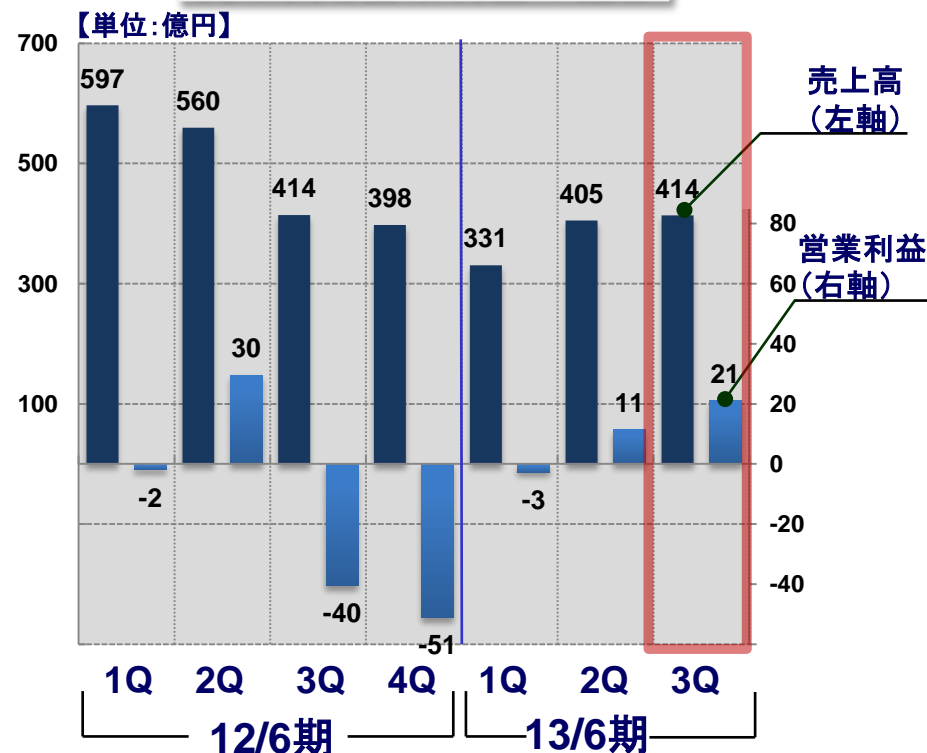
連結業績

受注高は、461億円(3Q累計1,249億円)で、前年同期比、前Q比でそれぞれ増加。受注残高は、778億円。売上高は、414億円(3Q累計1,150億円)で、前年同期比27%減。前Q比は微増であった。営業利益は、原価低減と経費削減効果などで21億円、3Q累計で30億円の黒字。経常利益は、21億円、3Q累計で27億円の黒字。当期四半期利益は、3Q累計で4億円の黒字となった。

【単位:億円】

	2Q		3Q	2012/6期		前年同期比 (増減率)
	1Q	(累計)		3Q(累計)	3Q(累計)	
受注高	420	788	461	1,249	1,189	5%
受注残高	728	—	—	778	722	—
売上高	331	736	414	1,150	1,570	-27%
売上総利益	75	166	97	264	264	0%
率	22.6%	22.6%	23.5%	22.9%	16.8%	
営業利益	-3	9	21	30	-13	—
率	-0.9%	1.2%	5.1%	2.6%	-0.8%	
経常利益	-10	6	21	27	-6	—
率	-3.1%	0.8%	5.1%	2.4%	-0.4%	
特別利益	1	1	1	2	1	
特別損失	1	4	3	7	187	
四半期純利益	-15	-8	12	4	-354	—
率	-4.6%	-1.0%	2.8%	0.4%	-22.5%	

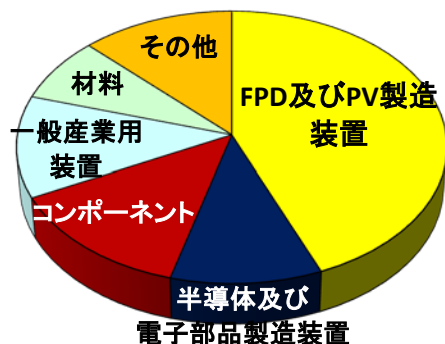
売上高と営業利益の推移



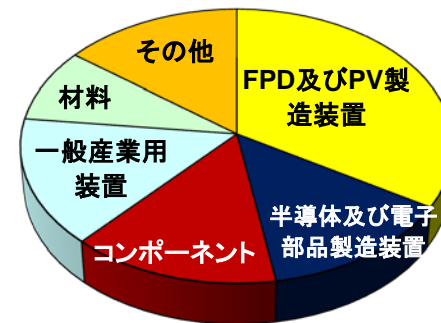
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別受注高・売上高実績

品目別受注高実績



品目別売上高実績



【単位:億円】

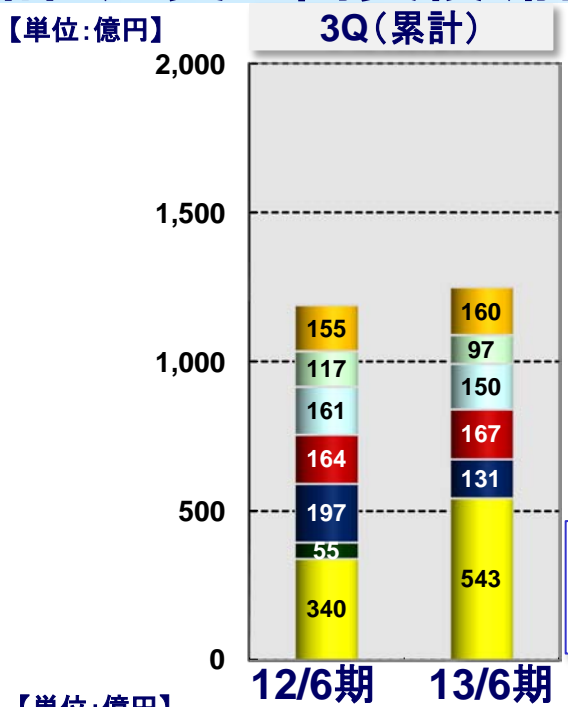
13/6期 3Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	991	79.4%
FPD及びPV製造装置	543	43.5%
半導体及び電子部品製造装置	131	10.5%
コンポーネント	167	13.4%
一般産業用装置	150	12.0%
真空応用事業	257	20.6%
材料	97	7.8%
その他	160	12.9%
合計	1,249	100.0%

【単位:億円】

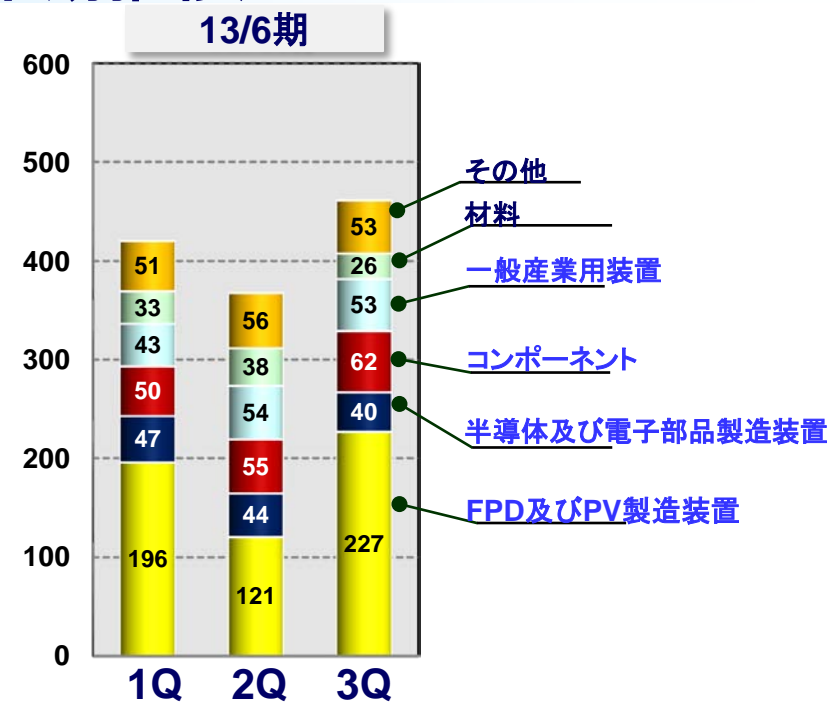
13/6期 3Q(累計)		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	883	76.8%
FPD及びPV製造装置	387	33.6%
半導体及び電子部品製造装置	157	13.7%
コンポーネント	165	14.4%
一般産業用装置	173	15.1%
真空応用事業	267	23.2%
材料	99	8.6%
その他	167	14.6%
合計	1,150	100.0%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別受注高実績(前年同期比、四半期推移)



注)*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。



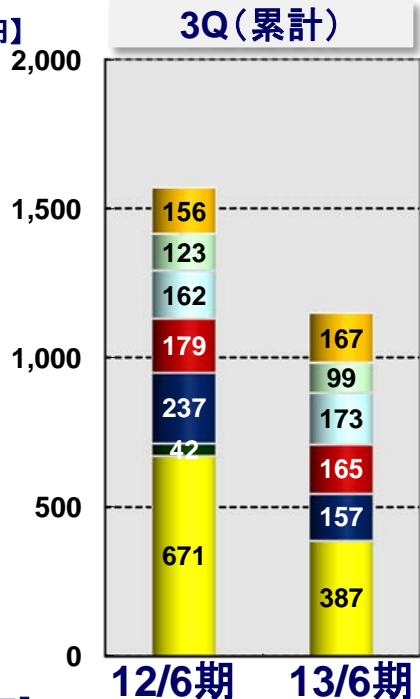
【単位:億円】 12/6期 3Q(累計) 13/6期

12/6期 3Q(累計)			13/6期 3Q(累計)			前年同期比 (増減率)	1Q		2Q		3Q	
セグメント	受注高	構成比	セグメント	受注高	構成比		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
真空機器事業	917	77.1%	真空機器事業	991	79.4%	8.1%	336	80.0%	273	74.4%	382	82.8%
FPD製造装置	340	28.6%	FPD及びPV製造装置	543	43.5%	37.5%	196	46.5%	121	32.8%	227	49.2%
PV製造装置	55	4.6%	半導体及び電子部品製造装置	131	10.5%	-33.5%	47	11.2%	44	11.9%	40	8.7%
半導体及び電子部品製造装置	197	16.5%	コンポーネント	167	13.4%	1.8%	50	12.0%	55	14.9%	62	13.5%
コンポーネント	164	13.8%	一般産業用装置	150	12.0%	-6.6%	43	10.3%	54	14.8%	53	11.5%
一般産業用装置	161	13.5%	真空応用事業	257	20.6%	-5.4%	84	20.0%	94	25.6%	79	17.2%
真空応用事業	272	22.9%	材料	97	7.8%	-17.3%	33	7.8%	38	10.4%	26	5.6%
材料	117	9.9%	その他	160	12.9%	3.6%	51	12.1%	56	15.3%	53	11.6%
その他	155	13.0%	合計	1,249	100.0%	5.0%	420	100.0%	368	100.0%	461	100.0%
合計	1,189	100.0%	合計	1,249	100.0%	5.0%	420	100.0%	368	100.0%	461	100.0%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

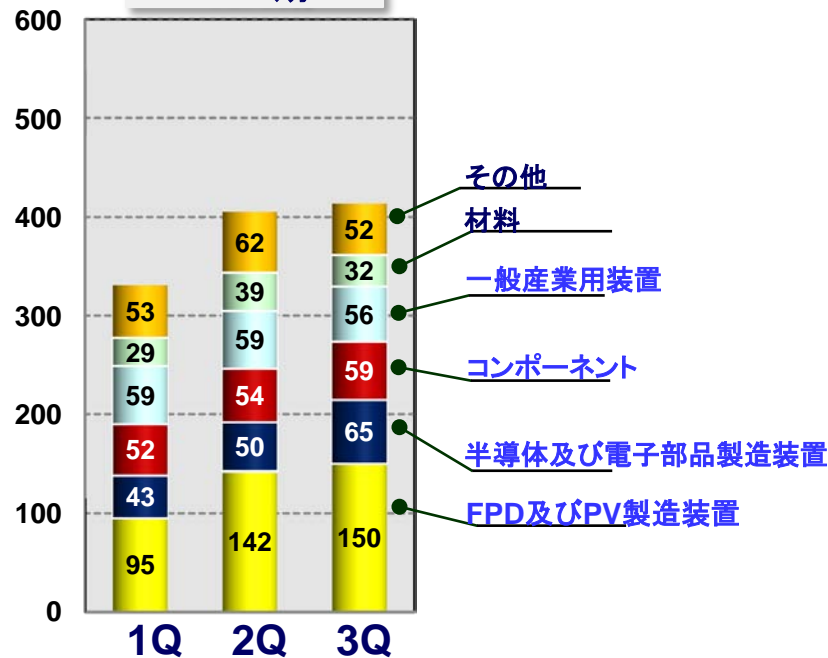
品目別売上高実績(前年同期比、四半期推移)

【単位:億円】



注)*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。

【単位:億円】



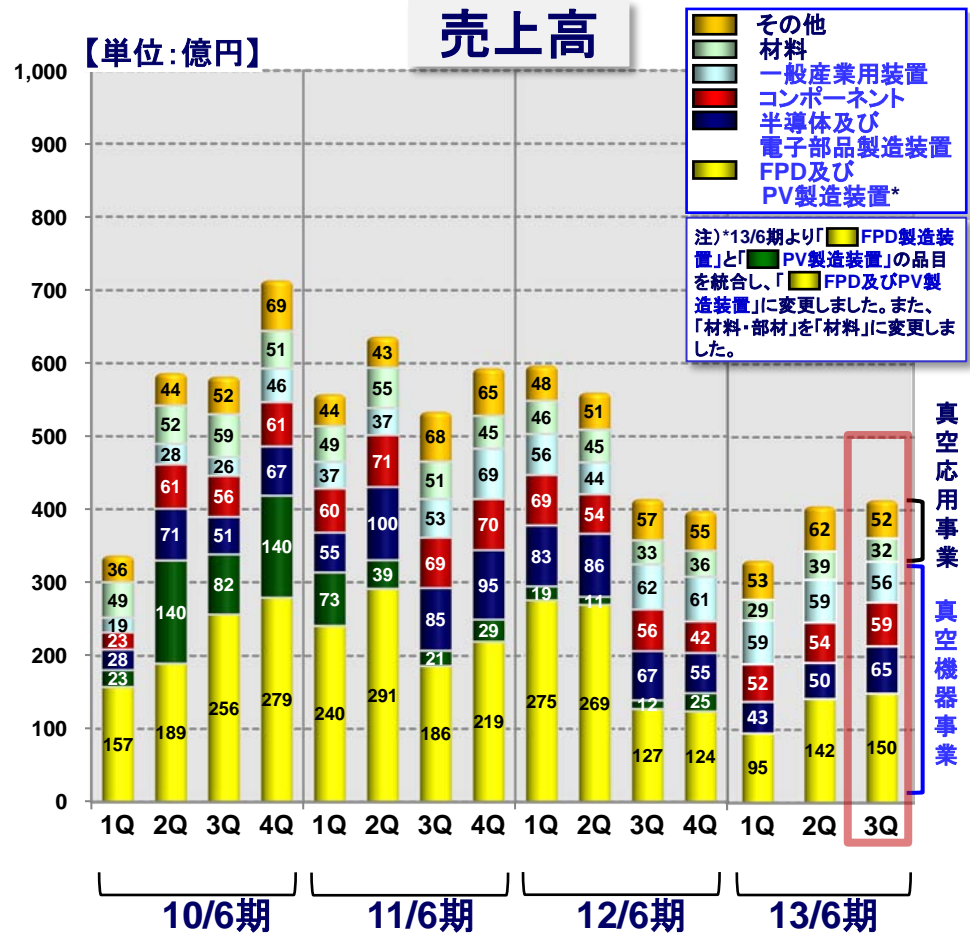
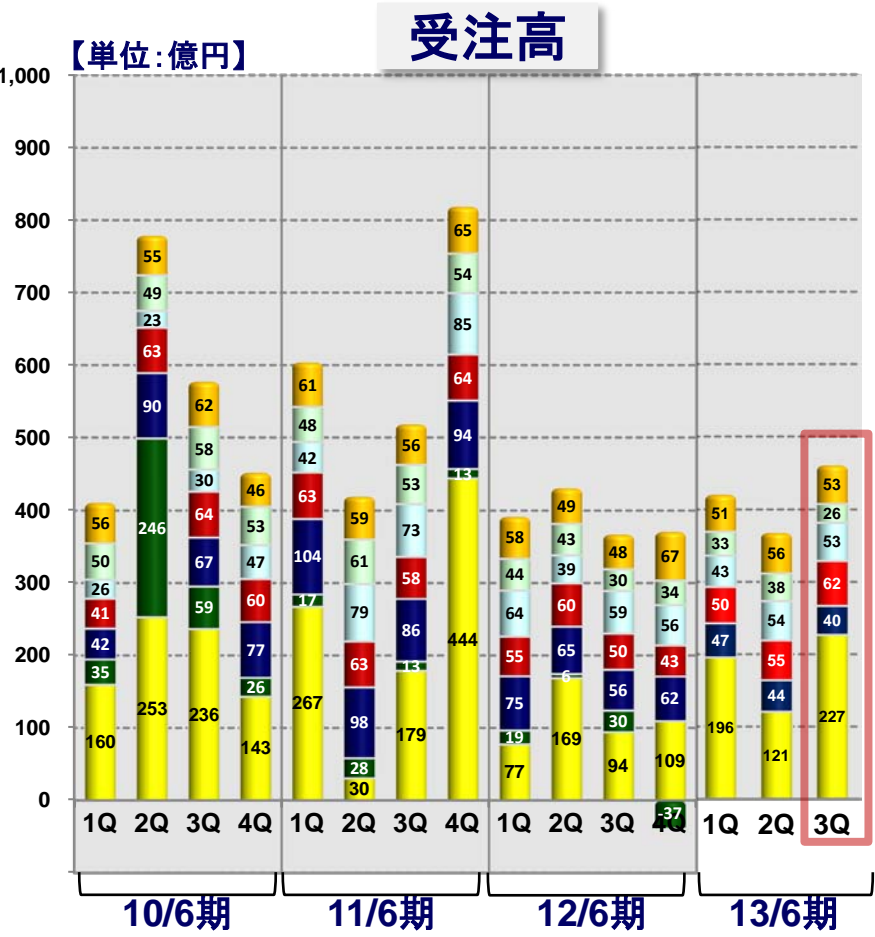
【単位:億円】

12/6期 3Q(累計)			13/6期 3Q(累計)			前年同期比 (増減率)	1Q		2Q		3Q	
セグメント	売上高	構成比	セグメント	売上高	構成比		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
真空機器事業	1,291	82.2%	真空機器事業	883	76.8%	-31.6%	249	75.2%	305	75.2%	329	79.6%
FPD製造装置	671	42.7%	FPD及びPV製造装置	387	33.6%	-45.8%	95	28.7%	142	35.1%	150	36.2%
PV製造装置	42	2.7%	半導体及び電子部品製造装置	157	13.7%	-33.6%	43	13.1%	50	12.2%	65	15.6%
半導体及び電子部品製造装置	237	15.1%	コンポーネント	165	14.4%	-7.9%	52	15.6%	54	13.4%	59	14.3%
コンポーネント	179	11.4%	一般産業用装置	173	15.1%	7.4%	59	17.9%	59	14.4%	56	13.5%
一般産業用装置	162	10.3%	真空応用事業	267	23.2%	-4.4%	82	24.8%	101	24.8%	84	20.4%
真空応用事業	279	17.8%	材料	99	8.6%	-19.4%	29	8.6%	39	9.6%	32	7.7%
材料	123	7.9%	その他	167	14.6%	7.5%	53	16.1%	62	15.3%	52	12.6%
その他	156	9.9%	合計	1,150	100.0%	-26.8%	331	100.0%	405	100.0%	414	100.0%
合計	1,570	100.0%										

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別受注高・売上高(四半期)の推移

受注高は、前Q比で、有機EL関連が寄与しFPD製造装置が回復。一方、電子部品関連の投資が遅れ、半導体及び電子部品製造装置が低迷。材料は、パネルメーカーの減産の影響を受け、回復が遅れる。
 売上高は、前Q比で、FPD製造装置は横ばい。半導体製造装置は、パワー半導体、実装関連を中心に回復。



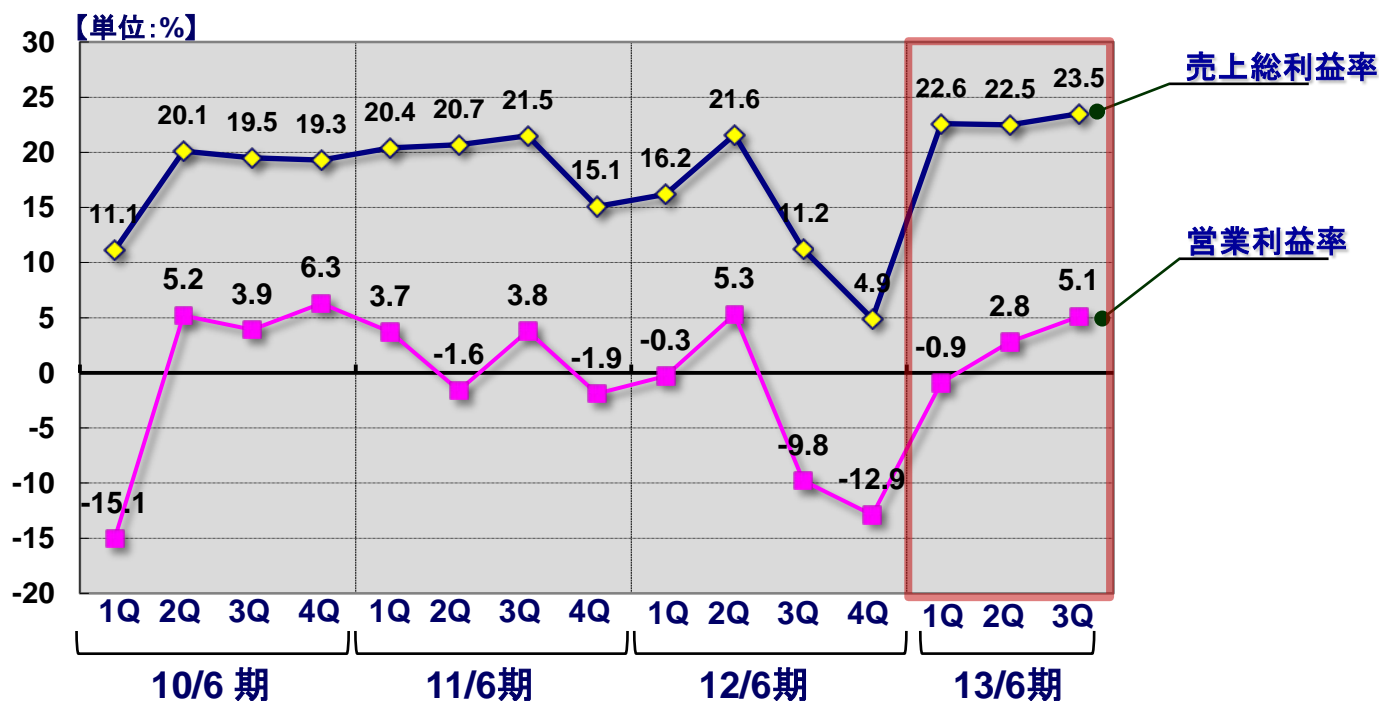
- その他
- 材料
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD及びPV製造装置*

注)*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

利益率(四半期)の推移

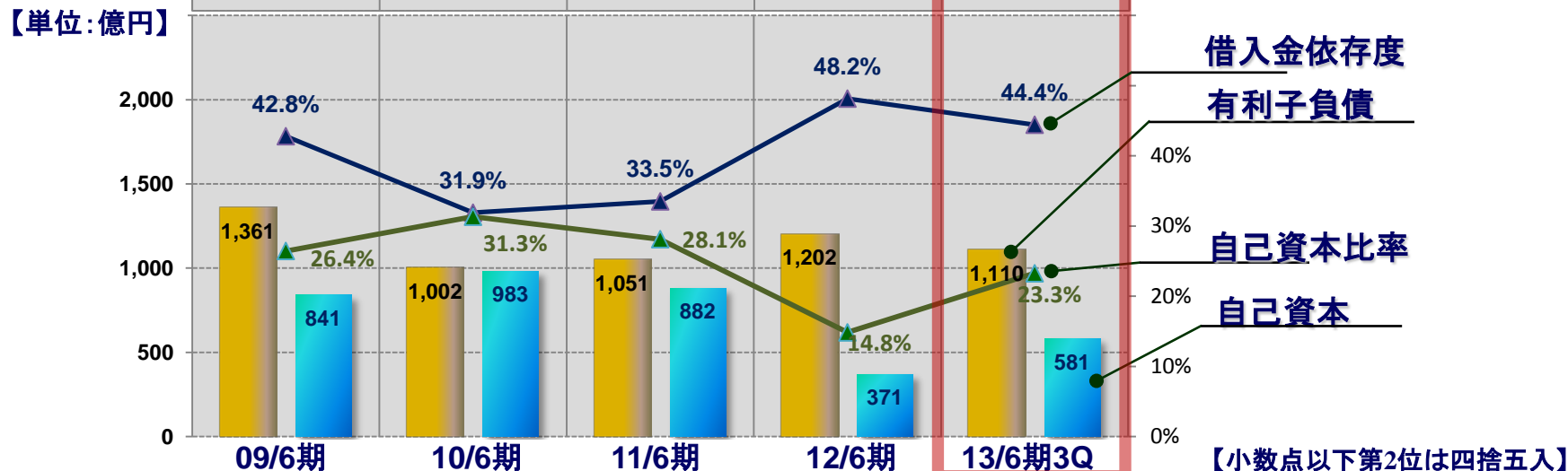
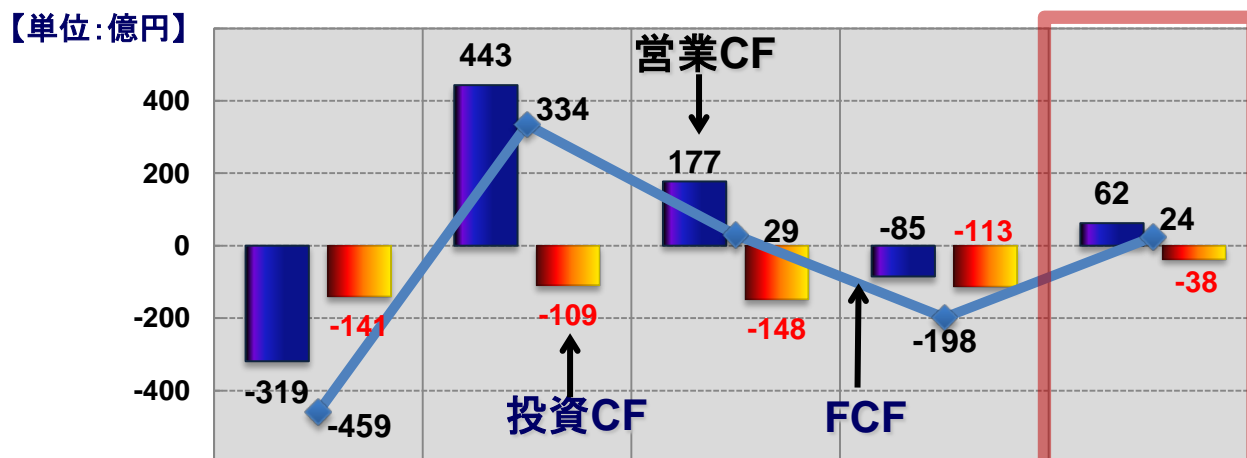
3Qは、原価削減等により、売上総利益率、営業利益率とも前年同期比、前Q比で改善した。



【小数点以下第2位は四捨五入】

キャッシュ・フローと有利子負債の推移

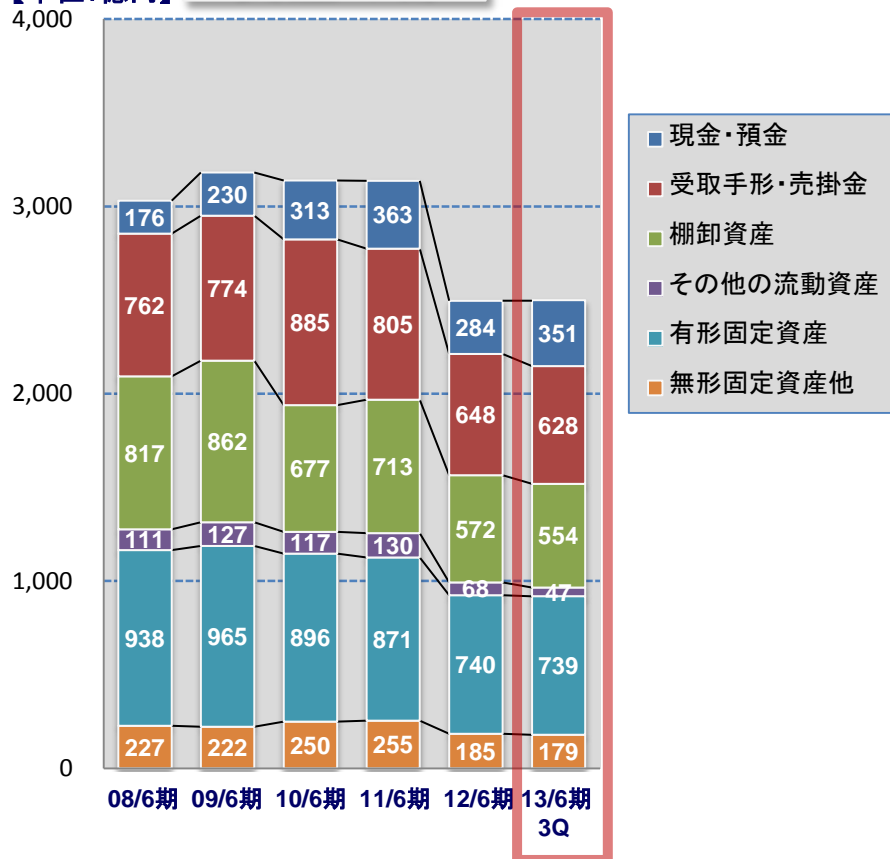
特別退職金の支払等が53億円あったが、運転資金を74億円圧縮し、営業CFは+62億円となった。引き続き設備投資を抑制し、FCF+24億円を計上した。



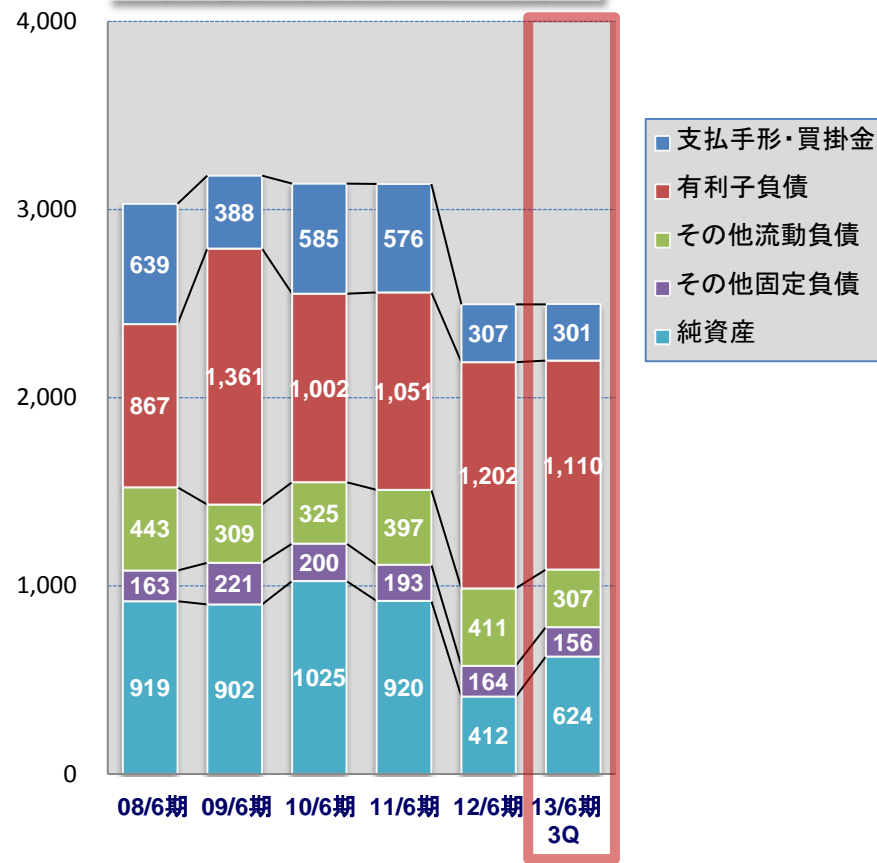
連結貸借対照表の推移

資産の部

【単位:億円】



負債・純資産の部



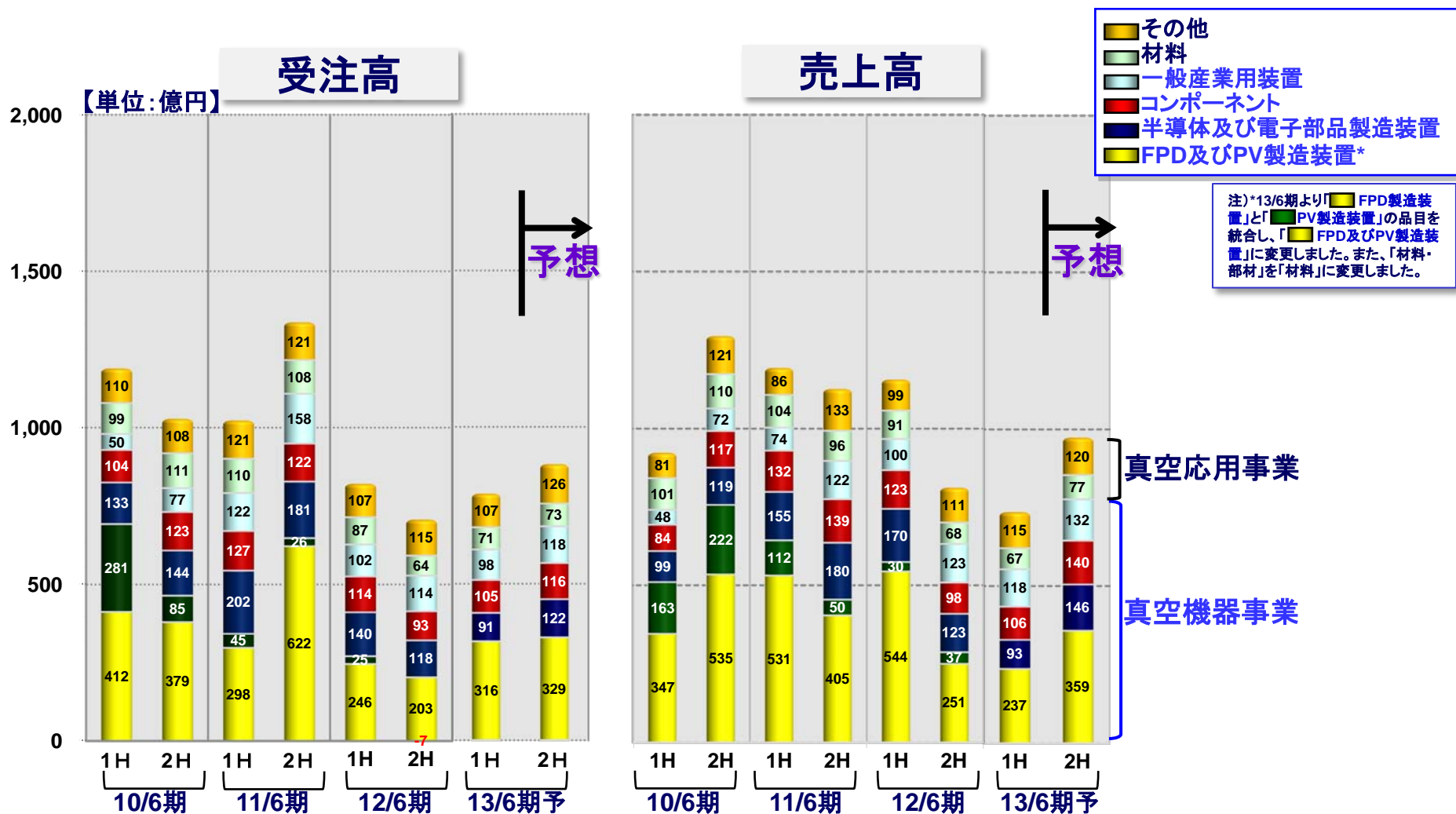
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

2013/6期 3Q連結業績と今後の状況

- 3Qの受注高は、前Q比で、有機EL関連を受注するなどFPD製造装置が回復。一方、電子部品関連の投資が遅れ、半導体及び電子部品製造装置が低迷。材料は、パネルメーカーの減産の影響を受け、回復が遅れる。売上高は、前Q比で、FPD製造装置は横ばい。半導体製造装置は、パワー半導体や実装関連を中心にやや回復。
- 追加原価の低減や製造原価の削減等により売上総利益率が改善、経費を中心とした固定費の削減で、営業利益は3Q累計で30億円となった。
- 今後は、FPDは過去のピーク時には及ばないものの回復を見込み、半導体も、メモリー、ロジック関連での投資が見込まれる。加えて、積極的に新規顧客開拓を進め受注の拡大に努める。
損益面では、引続き厳しい受注環境が続くことを前提として、損益分岐点を更に引き下げ、利益体質の強化に努める。

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

品目別受注高・売上高(半期)の推移・予想



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

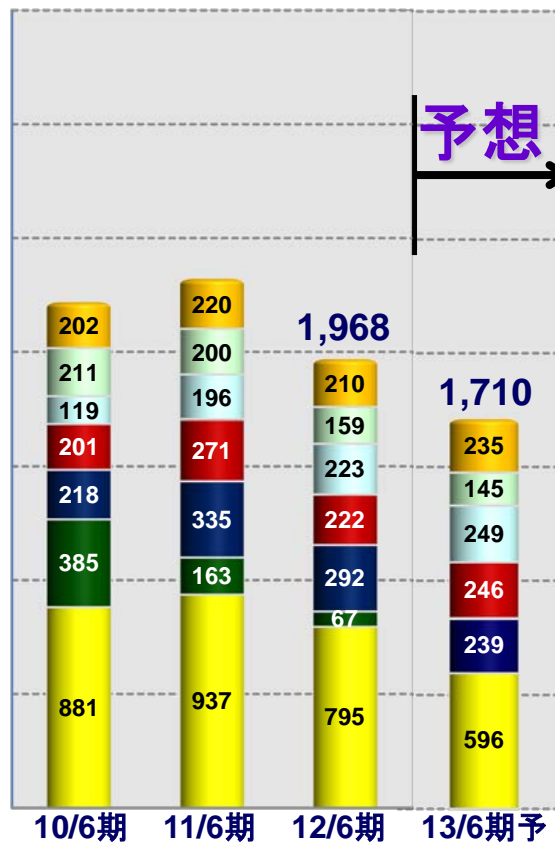
品目別受注高・売上高推移・予想

【単位：億円】

受注高



売上高



- その他
- 材料
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD及びPV製造装置*

注)*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。

真空応用事業
真空機器事業

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

ULVAC

